

会 議 議 事 録

1 会議名	第4回長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会
2 開催日時	令和7年3月26日(木) 14:00～16:00
3 開催場所	さいわいプラザ階6階 大会議室
4 出席者名	協議会委員 平山委員長、飯島副委員長、田中委員、新野委員、宮下委員 五十嵐委員、関委員、野澤委員(桜井課長補佐代理)、平澤委員 委員以外の出席者 (事務局＝科学博物館) 金垣参事(科学博物館長)、神保館長補佐、鳥居係長、丸山主査
5 欠席者名	坂井委員、松井委員、佐藤委員、小林委員、茂野委員、桜井委員
6 議題	(1) 第3章 長岡市の歴史文化の特性(修正案)について (2) 第5章 文化財の保存・活用に関する目標(将来像)(修正案)について (3) 第6章 文化財保存活用の課題・方針・措置(修正案)について (4) 第8章・第9章 関連文化財群・文化財保存活用区域(案)について
7 協議結果の概要	(1) 第3章 長岡市の歴史文化の特性(修正案)について 事務局より説明(資料1) (2) 第5章 文化財の保存・活用に関する目標(将来像)(修正案)について 事務局より説明(資料2) (3) 第6章 文化財保存活用の課題・方針・措置(修正案)について 事務局より説明(資料3) (4) 第8章・第9章 関連文化財群・文化財保存活用区域(案)について 事務局より説明(資料4)
8 協議の内容	
事務局	(1) 第3章 長岡市の歴史文化の特性(修正案)について 資料1について説明。

	1～6の特性について第3回協議会でご意見のあった箇所を反映した。
委員	説明文では歴史的事実と異なる表現がまだあるため修正いただきたい。
事務局	精査して修正する。
事務局	(2) 第5章 文化財の保存・活用に関する目標(将来像)修正案)について資料2について説明。 将来像について前回指摘いただいた箇所と方向性の記載順を修正した。
事務局	(3) 第6章 文化財保存活用の課題・方針・措置について資料3について説明。 措置の主体となるところは、行政と市民それぞれが頑張るという形にしていく。取組主体としてどの部局がどの事業を担当するのか整理するようご指摘いただき、今後庁内ワーキング等で合意形成を進めていきたい。整理の必要はあるが小さくまとまらないようにとご指摘いただいた。措置を挙げすぎて実行までいかない市町村もあり、それを踏まえて検討したい。
委員	課題10-1に「遺跡の活用が停滞」とあるが、「伝える」の課題なのか。それとも、遺跡の実態を伝えることが停滞しているのか。つまり、「伝える」の課題であるように文言を変えるか、もしくは、掲示する場所を変えるか対応が必要である。
事務局	実態は活かすに近い。検討・整理する。
委員	方向性 4 11-2 ユニバーサルデザインの整備、15-2 観光ボランティアガイドについてこれはデジタル化で解決することではないか。課題 9 でデジタル化を検討し、魅力発信の手助けを行うという項目があってもよい。
委員	様々な面でデジタル化を検討するという科目があってもよい。
委員	授業で悠久山公園の資料館の展示品の調査研究を学生と一緒に改めて行っている。時間がたって調べてみると、学生が google で検索して新しい発見に繋がることもある。時代に合った調査研究を踏まえることが重要。活用連携の前の磨き上げとして、調査研究を深めることが必要で、方向性1に示すべきでは。
委員	保存活動だけではなく、全般的に学生との連携があってもよい。どこからが取組主体で、どこからが協力関係かを、全体的に整理してもらえるとよい。団体と専門家の違いなども明確にしていきたい。

事務局	(4) 第8章・第9章 関連文化財群・文化財保存活用区域(案)について資料4について説明。
委員	関連文化財群と歴史文化の特性を対応させているものだという認識だが、全体的に繋がりがよく見えてこない。文化財群をまとめ上げる軸をどう歴史文化の特性と関連付けているのか。
事務局	実際に事業として動いているものをさらに発展させていきたいという意図がある。特性との関連付けは再整理する。
9 会議資料 別添のとおり	